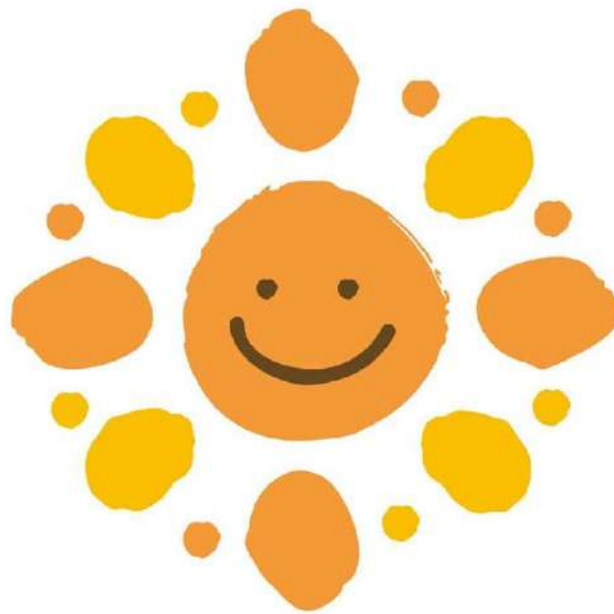


キープ・ママ・スマイリング Keep Moms Smiling!

2020年度 活動報告



ずっと 雨が ふってても

いつも 太陽が てらすから

あんなに 元気な虹が できる

それでも 太陽だって 沈むことがある

どんな日も どんな時も どんな場所でも

おなかが すいちゃうみたいに

笑顔だって ペコペコになる

ママよ 世界でひとつの 大切な太陽

ママよ あなたが笑うと みんなが笑うから

Keep Moms Smiling!

Keep World Smiling!

子どもの発達、

病気に向き合うママにも

ポカポカ笑顔を。



おいしい食事で付き添い入院中のお母さんにホッとできる時間を提供したい。私たちの活動の主軸です。

お子さんの長期入院で付き添い看護を続けるご家族が滞在するファミリーハウスへ夕食を届け始めて5年目に突入。2019年も趣向を凝らしながら毎月活動を継続してきました。

調理ボランティアの募集を開始するとすぐに参加枠が埋まってしまう程の大人気の米澤文雄シェフのミールプログラムは、10月、11月、1月に開催。毎回おいしくて素敵なレシピで参加者の皆さんをワクワクさせてくれました！

長期休み期間には、恒例の中高生ミールを開催しました。19年冬休みミールの開催で通算12回目の開催となり、延べ参加人数120人余り、提供した食事は600食近くになります。管理栄養士の可野倫子先生の指導のもと、8月に開催した夏休みミールでは、中学生、高校生、そしてサポートの大学生、大学栄養科の教員を合わせて17人がジンジャーケーキ、桃のゼリーをそれぞれ60食分、約3時間かけて作り、12月の冬休みに開催したクリスマスミールでは、お弁当形式のミールに挑戦し、若者パワーで49個&試食分の大量調理を見事やり遂げました。「楽しかったー」「また、来ます！」という学生さんの感想にスタッフ一同、元気をもらいました。

大晦日には恒例の「おせちミール」を実施。年末年始を病院で過ごさなければならぬご家族の状況に思いを寄せ、参加者全員で心を込めて作りました。ハウスでのお節作りだけでなく、夜明けから手打ちのお蕎麦を用意して届けてくださった寄付者の方にも感謝申し上げます。



有志の皆さんによるプログラムも複数実施しました。

今年も定期的に実施しているミールプログラムに加え、有志ボランティアの皆さんによる個性あふれたミールプログラムも複数回実施しました。

2018年に引き続き、夏の期間中、デザートを中心としたミールプログラムを企画・提供して下さったのは東京医療保健大学医療栄養学科の細田明美先生とゼミ生の皆さんです。19年は、ミールdeスマイリング缶をアレンジしたおいしいデザートや、疲労回復弁当などを作ってくださいました。

神奈川・横須賀YRP野比駅近くに店舗を構える「肴と酒のうまい店一六四」オーナー前田 浩さんによる海鮮メニューミールプログラムでは、新鮮なあじを使った南蛮漬けが好評でした。また、東京・飯田橋で大人気の和食レストラン「さくら本店」の大将・吉澤重昭さんが、お店に集う愉快的常連さんたちとともに、美味しい和食を作ってくださいました。本格的な和食ミールは、おいしいのはもちろん、野菜たっぷり栄養も満点です。



【新型コロナ対策】ミールdeスマイリング缶をお届け

新型コロナウイルス感染予防のために2020年2月下旬以降は、調理ボランティアが集まって温かい食事をつくるミールプログラムの実施は難しくなりました。しかし、自分たちができる範囲での支援を続けることにし、ミールdeスマイリング缶とともにご寄付いただいた野菜やパン類、レトルト食品などをお届けしました。

今期のミールプログラムも多くの方々に支えていただき、 23回実施、のべ800人の付き添いママに食事を提供しました。

今期のミールプログラムも、たくさんの方々からのご支援によって継続できました。2020年2月以降、新型コロナウイルス感染予防のために、通常のスタッフが集まって調理を行うミールプログラム実施が難しくなりましたが、下記の企業さまより物品のご寄付いただいたことで、ファミリーハウスや小児病棟の付き添いご家族に食事支援を続けることができました。あらためて御礼申し上げます。

株式会社サイテックファーム様

玉川大学と西松建設の産学連携から生まれた水洗いが不要の無農薬LED水耕栽培レタス『夢菜』は野菜不足に悩むご家族にとって頼もしい味方です。

川辺株式会社様

付き添い看護をするご家族にとってマスク不足は危機的な状況でした。手作りマスクの作り方とともに、その材料となるハンカチをご寄付いただきました。

石井食品株式会社様

厳選した素材による無添加調理されたレトルト食品（ミートボール、チキンハンバーグ、新玉ねぎのハンバーグ、野菜のおかゆ「ポタージュ」3種類）をご寄付いただきました。すぐに食べられるとたいへん喜んでいただきました。

愛媛県宇和島の「あぐり工房あすも」様

もぎたてのフレッシュな香りのポンカンをご寄付いただきました。ビタミン不足が気になるご家族に嬉しい一品になりました。



「ご当地」をテーマにした郷土料理弁当を隔月でお届け。クッキーやハーブティーのご寄付も。

聖路加国際病院の小児病棟へのお弁当配布は3年目になり、今期も隔月奇数月にお届けしました。毎回、季節を感じられる飾りを添えたメニューカードを手作りしています。

病院で長期にわたって付き添い看護をしていると、遠出することも難しくなります。そこで、食事をする時間だけでも旅行気分を味わってもらえたら…という思いから、今期は調理するお弁当のテーマを「ご当地」に設定しました。沖縄県を皮切りに福岡県、和歌山県をテーマに郷土料理のお弁当を作りました。和歌山県の回では、**白浜町役場**のかたが呼びかけてくださって、地元の生産者の皆さんから「アジの干物」「ほうじ茶(川添茶)」「梅干し」「ぼんかん」「柚もなか」といった食材をご寄付いただきました。このほかの寄付では**株式会社ケアコム様**より自社農園で無農薬栽培したお米をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で通常のお弁当を提供することができなくなった3月は、常温保存が可能なミールdeスマイリング缶とパンをお届けしました。

この回では**お菓子研究家の牟田彩乃様**より、文京区・千駄木にあるストレル洋菓子店「PRIMROSE」のクッキーとハーブティーをご寄付いただきました。おかげさまで途切れることなく、食支援ができましたことを感謝申し上げます。



ミールdeスマイリング缶 完成披露&試食会を 日本財団助成イベントとして全国5か所で実施。

2019年4～6月、「いつも頑張るご家族を食を通じて応援」をテーマに全国5か所の病児や医療的ケア児、その家族を支援する施設でイベントを開催し、米澤文雄シェフ監修のミールdeスマイリング缶のお披露目をしました。このイベントは日本財団さまの助成をいただきました。

初回となる4月は、東京の国立成育医療研究センター内にある「もみじの家」の設立3周年記念イベントにてブースを出展。来場者に4種類の缶詰をアレンジした料理を提供し、試食した方から「とてもおいしい」とほめていただきました。なお、このイベントでは、当団体と親しいフロムハンドメイクアップアカデミーさんによる出張ネイルサービスやメイクアップサービス、アロママッサージなども行われ、このブースにもひっきりなしに人が訪れて大盛況でした！)

続く5月は、兵庫県神戸市の「チャイルド・ケモ・ハウス」にて開催。5月以降のイベントには米澤シェフも参加し、来場者に缶詰アレンジメニューをふるまってくださいました。また、缶詰開発秘話についてもお話しくださり、缶詰に使用した調味料は最低限に止め、添加物や保存料を一切入れなかったことに感嘆の声が上がる一幕も。来場者から「自分が付き添い入院をしていたときに、この缶詰がほしかった！一人でも多くの方に配ってください」との感想をいただきました。



イベント後半戦。各地域でお会いした皆さまとのご縁が私たちの活動の原動力になると実感しました。

6月は大阪府、福島県、栃木県の3か所の施設でイベントを開催させていただきました。上旬には大阪市鶴見区にある「TSURUMIこどもホスピス」で、この施設を利用されているご家族を対象にイベントを行いました。自宅にいるような空間の中、参加者と米澤シェフとの心の距離も近く、アレンジメニューを出し合ったり質問コーナーがあったりととてもアットホームな会となりました。

中旬には福島県福島市にある「パンダハウス」にて開催しました。イベント当日は、あいにくの雨模様となりましたが、心優しい素敵な施設スタッフの皆さんにサポートいただき、笑い声の絶えない楽しいイベントとなりました。この日はメディアの取材クルーも同行し、その様子を報道してもらいました。

そして、下旬にはイベント最終日を迎え、栃木県宇都宮市の「認定NPO法人うりずん」で開催させていただきました。米澤シェフのライブキッチンでは、目の前でにんじんのココナッツスープや豚肉のチーズリゾットがあっという間にできあがるの見て、多くの参加者から「これなら私も真似できるから嬉しい」という声が。終始盛り上がりました。

ご参加くださった病児や医療的ケア児のご家族、会場を提供くださった施設スタッフの方との出会いは当団体にとって今後の活動の原動力となり、本当に宝物となりました。今回の素晴らしい機会をくださった日本財団さまに心より感謝申し上げます。



佐賀大学医学部附属病院小児病棟への定期配布が開始。 複数のメディアに贈呈式取材していただきました。

全国の小児病棟の付き添いママに配ることをめざして開発したミールdeスマイリング缶。その最初となる定期配布が2019年11月より佐賀大学医学部附属病院で始まりました。

配布初回日にあたる11月5日には同大学病院の一室で贈呈式が行われ、小児病棟で付き添い中のお母さん二人が代表として出席し、理事長の光原から缶詰セットをお渡しいたしました。また、同大学小児科教授の松尾宗明先生が付き添い家族が置かれた過酷な環境を説明し、この缶詰配布を受け入れた経緯と意思についてお話しくださいました。

贈呈式の後には、病室にいるお母さんたちに「この缶詰は、みなさんのために作りました。病気の子どもを育てるお母さんたちを応援する多くの人の想いも詰まっています。付き添い、頑張ってください！」と声をかけながら、缶詰とともに、支援者の皆さんが応援して下さる気持ちもお届けしました。

贈呈式にはメディアの方が7社も取材に来てくださり、NHK、日経新聞、西日本新聞、中日新聞、佐賀新聞などで取り上げていただきました。病棟で付き添うお母さんたちの環境を社会的課題として捉え、私たちの活動を理解し共感して下さる記者さんたちとの出会いに感謝です。同大学病院には毎月1回お届けしており、20年5月までに7回配布しました。コロナ禍に見舞われていますが来期も継続していきます。



医療関係者の方々へ私たちの活動を知ってもらうため 今後もブース出展を続けます。

ミールdeスマイリング缶を全国の小児病棟で付き添うご家族に配るためには小児科医をはじめ小児医療関係者に私たちの活動を知っていただくことが必須だと考えました。そこで今回は医療関係者への広報活動をスタートさせました。

6月2日には東京で日本対がん協会が主催した、がんサバイバーとその家族に支援情報を提供するイベント「ジャパン キャンサー サバイバーズデイ2019」にブースを出展。初参加ということで団体紹介の機会をいただき、約15分のプレゼンテーションを行いました。この中でミールdeスマイリング プロジェクトの広報ができました。また、同日に名古屋市で「日本小児神経学会学術集会」も開催されたので、スタッフが2チームに分かれ、こちらにもブースを出展しました。

さらに、8月には認定NPO法人キャンサーネットジャパン (CNJ) が開催する国内最大級のがん患者フォーラムである「ジャパン キャンサーフォーラム」と「東日本小児科学会」に、11月には大阪でCNJと毎日放送が主催する「ちゃやまち キャンサーフォーラム」でもブース出展の機会をいただきました。

コロナ禍によるイベント・学会の中止が続いていますが、来期も医療関係者に向けての広報活動を続けていきます。



聖路加国際大学小児看護学と「付き添い経験者の“声”で病気の子ども家族へのケアを変えるプロジェクト」開始

子どもが入院すると、その家族にもさまざまな影響を与えます。これまで付き添い家族（特に大きな負担がかかる母親）から直接、実体験を聞き取る調査はあまり行われてきませんでした。そこで、当団体では、2019年4月に独自にウェブ調査を実施。全国から222名の回答が寄せられました。回答者の約7割が体調不良になるなど、入院付き添いに伴う家族の負担の大きさが明らかになりましたが、すべての都道府県からの回答を得られておらず、また学術的な分析を加えたデータとはなりません。

そこで、子どもの入院に付き添う家族への支援のあり方を考えるために、聖路加国際大学小児看護学の研究者とともに共同プロジェクトを発足。19年12月23日～20年2月29日の期間、アンケート調査を実施しました。おかげさまで全国すべての都道府県にお住まいの付き添い入院を経験したご家族からご回答をいただき、その数は1055件に上りました。

ご家族の方から寄せられた貴重な経験や声は現在、小児看護学を専門とする研究者によって分析中です。今後は学会発表・研究論文、さらには提言という形で社会に発表・公表していきたいと考えております。この成果が実るまでの間、今しばらくお待ちください。

アンケートの回収結果のご報告と皆さまのご協力に対してあらためて御礼を申し上げます。

付き添い経験者の“声”で病気の子ども家族へのケアを変えるプロジェクト

入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査

2020.2.29 締切

調査対象：0～18歳の子どもの入院に付き添い経験のあるご家族

アンケート調査 <http://nomsmile.jp/>
 QRコード 

あなたの「付き添い経験」をお聞かせください。一つひとつの声を小さくても、たくさんの声が集まることで、付き添いの過酷な環境を変えていく大きな力になります。

調査主催：聖路加国際大学大学院 小児看護学 / NPO法人キープ・ママ・スマイリング
 お問い合わせ先: kodame.nyuin@gmail.com (聖路加国際大学大学院 小児看護学)



病気の子どもに安心して付き添える世界をともに作っていきましょう

子どもの入院に付き添う家族に対する研究や支援は、それぞれ取り組んでいますが、聖路加国際大学大学院小児看護学と【NPO法人キープ・ママ・スマイリング】は、このはと「付き添い経験者の“声”で病気の子ども家族へのケアを変えるプロジェクト」を共同で立ち上げました。

子どもの入院は、家族全体の生活に影響します。お母さんは子どもを思い、病院に泊まるのはとても長く、睡眠や食事の調整などにより体調を崩すことは知らずありません。長期入院になった場合は、経済的負担も大きいです。お父さんは仕事を休まず、付き添い家族と仕事の間を調整する必要があります。また、家で留守番もしているようないも親に甘えたいのに我慢を強いられます。

共同プロジェクトでは、研究活動を基盤に、このような付き添い生活の改善が少しでも実現し、お母さんやお父さんが入院中の子どもに安心して付き添えるよう、また子どもが入院中であってもその負担なく暮らし続けられるよう、付き添い家族に対する支援のあり方を考え、「子どもと家族中心のケア」を実現するために国や社会に積極的に提言してまいります。

そして、研究の蓄積がはたかどめられるまでにはまだまだ時間がかかります。その生活と支援の実態について全国規模調査を実施することになりました。私たちは、この調査を継続的に進めるための体制を整え、一方でご協力をいただければ幸いです。ぜひ調査にご協力ください。あなたの「付き添い経験」をお聞かせください。一つひとつの声を小さくても、たくさんの声が集まることで、付き添いの過酷な環境を変えていく大きな力になります。病気の子どもに安心して付き添える世界を、ともに作っていきましょう。

この調査は付き添い者の生活改善に向けた最初の大切な一歩です。

「付き添い経験者の“声”で病気の子ども家族へのケアを変えるプロジェクト」共同代表者からのメッセージ

子どもと家族中心のケア実現に向けて

小児看護学には「子どもと家族中心のケア」という考え方があります。これは一人ひとりの子どもと家族の話を聴きあうことです。その思いを尊重し、サポートしていくことです。適切なケアを提供するということです。そして、看護学・医療職としての役割に携わる中、付き添いご家族に対して子どもと家族中心のケアを提供することの役割を担っています。

そこで、2018年に全国の医療機関を対象に家族の付き添いご家族の現状について調査を行いました。この調査には看護士や医師・看護師の半額ほどが調査対象であることが浮き上がってきました。そして、制度上の問題を解決しない限り、子どもと家族中心のケアを実現することは難しいと感じていました。

付き添いご家族から制度上の問題を具体的に聞き取り、よりよい支援体制を構築するには、医療職だけでなく家族である付き添い経験者への調査が欠かせません。子どもと家族中心のケアの実現に向け、みなさんの「声」をひとつひとつ聞かせてください。

付き添い家族の現状を社会に伝えたい

2009年、初めての出産と同時に入院を経験しました。1つひとつの経験が積み重なりました。このとき、私を助けてくれたのは病院の近くで産科から病棟に駆けつけてくれた産科看護師さんです。そのおかげで、付き添いご家族の生活実態を知ることができました。この経験が、産科と病棟の連携を促すきっかけとなりました。この経験が、産科と病棟の連携を促すきっかけとなりました。

一方で、付き添いご家族を取り巻く環境はさまざまです。2019年に子どもと家族中心のケアに関する調査を実施しました。全国の20名以上の回答をいただきました。この貴重な声を社会に届けて、過酷な付き添い生活の改善に生かしたいと思います。この共同調査の成果です。私たち病気の子どもを支援する家族が安心して実態が知られる機会を実現するために調査への協力をお願いいたします。

「子どもと家族中心のケア」実現には、あなたのご協力が不可欠です。

テレビ番組、ラジオ番組、新聞、雑誌と今期も 多くのメディアを通して活動を知っていただきました。

全国の小児病棟で付き添い看護をするご家族が置かれている環境や課題、そして私たちの活動を社会へ知っていただく大切な機会として、今後もメディアのみなさまとは連携・協力体制を築いていきたいと存じます。

掲載月	メディア名	記事・番組タイトル
2019年 7月	HANAKOママ	暖かい食事を届けてママを元気にしたい！
7月	NHKあさイチ	病児の親を料理で笑顔に！
10月	読売新聞	発達障がい児 安心のカット
11月	西日本新聞	入院付き添う親の食支援 NPOが缶詰無償提供
11月	佐賀新聞	病児看病ママの健康サポート 東京のNPO法人、佐賀大病院に缶詰贈呈
11月	サガテレビ	全国初！NPO法人が小児病棟の付き添い母親へ一流シェフ監修の缶詰を提供
11月	NHK佐賀	長期入院児の付添いに缶詰提供
11月	日本経済新聞	子ども入院の親に食事を NPO、佐賀大病院で提供
11月	中日・東京新聞	子どもの長期入院、付き添う家族を癒やしたい シェフ考案の缶詰を無償提供 受け入れ先を募集中
11月	NHKジャーナル	小児病棟に入院する子供に付き添う母親を「食」で応援する
11月	毎日新聞	病児の母 食事で笑顔に
12月	日経新聞	子の入院の付き添い、NPOが実態調査 家族支援不足
12月	日テレ24 The Social	病気の子供を抱えているママの力に！
2020年 1月	HQ (一橋大学)	病児の入院に付き添うママを、おいしい食事で笑顔にしたい
1月	読売新聞	入院児の親に食事サービス 付き添い時NPOが支援
4月	another life.	生まれてきてくれた命の意味を形にするために。 温かい食事で、お母さんの笑顔を支える。
5月	TBS Nスタ・news23	新型コロナの影で…付き添い制限で子どもと会えない家族の苦悩
6月	日本経済新聞	入院小児 9割で面会制限 親と分離で負担大きく (コメント掲載)



左のQRコードを読み取ると、メディア掲載の詳細をご覧ください

食事を提供した付き添いのご家族からたくさんの感謝の声をいただきました。一部をご紹介します。

今日はなかなか食事の時間が取れなかったので、唯一の食事がとても美味しい手作り料理で心も温まりました。ありがとうございました！

付き添いで疲れたからにとっても沁みました。手作りの料理をいただけてとてもありがたかったです。野菜をたくさん使っていただいていたいて安心感と満足感がありました。

いつも美味しくいただいています、どうもありがとうございます。缶詰のアレンジも美味しかったです。自宅でも試してみます。

温かいお言葉とケーキとゼリーとても嬉しいです。夏を感じるメニューでした。ごちそうさまでした。遅く帰ってきて疲れていたけれど、元気が出ました。明日も頑張れそうです。

シェフの食事美味しかったです！優しいお味でとても癒されました。久しぶりに弁当以外のご飯を食べました。

病児も付き添いの親も今日が大晦日だなんて構っていられず、この食事の時、ささやかに今年も終わりなんだと感じました。お手紙とともに本当に美味しくいただきました。ありがとうございました。

病院通いと搾乳でご飯を作る時間もなく、手料理を食べられるのは本当にありがたいです。久しぶりにヘルシーなご飯を食べられました。ボランティアの皆さんに病気の娘を応援してもらっているようで私も励まされます。

クリスマスにフグき
手か おせちが食べれるとは
思ってたので本当に嬉しかったです。
クリスマス、年越し、正月
子どもの1枚たんじり日が全て
病院で 過ごします。とばかり
来く 思っていました。でも こうして
お美 味い ご飯を食べると
やはり 幸せ 感じます。
本当に 感謝です。とても お美味がた
です!!

今日は 温かい料理を
作って下さり、ありがとう
ございました。メインもスーフ
デザートも どれも とても美味しかった
です。クリスマス当日は 娘の手術日
なかなか ゆっくりできる 時間が
取れなかったで、体に良さそうな
お食事を見て、食べる前から 嬉しかった
です。これから まだ 大変な日か
続きますが、頑張ります。ひ
ありがとう ございました。♡

この度は豪華な食事をありがとうございました。何
ともおいしいです。何より気持ちがとても嬉しい
です。ひとり暮らしで年越しが...と思っていたの
ですが、とても温かく幸せな気持ちになりました。本
当にありがとうございました。娘は入院を繰り返
返して、ほめてから家で過ごす時間も
入院している期間の方が長、まじクリスマスも年
年始も家で一緒に過ごせにこはまりほ
ん 来年は元気に家でクリスマス、
年々年始を過ごせたらなあと思っております。
お忙しいところ、私たちが親のために本当にあ
りがとうございます。

とても美味しく頂きました。
病気が分かってから 自分の食事は
は 適当にすましていたので、
お酒 落なお弁当が カフェ気分
を味わえました。ありがとうご
せました。

私たちの活動を応援してくださった皆様 (50音順 敬称略)

●助成金・支援基金

日本財団ママ基金、ファンケルもっとできるはず基金

●支援企業の皆さま

一般社団法人アジア人財教育開発機構、石井食品株式会社、株式会社インディッグ、大原薬品工業株式会社、株式会社Office musubi、株式会社釜浅商店、株式会社カレッジ、川辺株式会社、株式会社カンブライト、株式会社クミタテ、株式会社クラブビジネスジャパン、株式会社ケアコム、越石鍼灸院、株式会社サイテックファーム、株式会社サニーワークス、株式会社JIN-G、ストレル洋菓子店、株式会社Sfida Fabbrica、株式会社セブ社会人留学、TABLEALL PTE. LTD、企業組合津島あぐり工房、株式会社Tommy、成竹窯、日本料理四四A2、NU VILLAGE、株式会社ネットワークコミュニケーションズ、株式会社ノートラック、パンの花、株式会社久松農園、株式会社HUMAN&MIND、フラリッシュ・コンサルティング株式会社、株式会社ブルームウィル、ブルドーザーズ合同会社、宝録堂、株式会社メイセイトレーディング、株式会社ムーンファクトリー、株式会社ユー花園、ライフエディット株式会社、株式会社ライフ・ポートフォリオ、株式会社リクルート住まいカンパニー、一般社団法人リファイン就労支援センター、和歌山県白浜町

●支援者の皆さま

麻生裕之、新知春、渥美敬之、安倍昭恵、荒木栄三、荒木美佳、荒瀬道子、有馬菜穂、生嶋ゆかり、生駒龍史、石川隆、石川明、石橋明人、石山裕未、磯部博美、市原真理子、稲見千春、イノウエヤスコ、射場典子、岩佐浩徳、岩下直司、内田信子、海野今日子、永樂秀樹、榎本圭子、扇田みゆき、大江里香、大木淳夫、大越桃子、大島季子、大地崇、大津邦彦、大藤淑江、大野勝次、大野景子、大林松乃、大道亮子、大森洋介、大家安紀子、大矢麻弥、岡真理子、岡田美子、岡本明美、奥村剛、小野奈穂子、折田中、香月やすこ、総谷久美、片岡美穂、勝俣孝一、加藤美千代、金子剛平、河島彰子、川添高志、川添泉、河内尚子、河原富美香、川向隆一、河本晃、韓秀一、神田優、菊水浩、菊池桂子、菊池由希恵、菊池奏愛、木村公治、楠本貞愛、工藤陽代、国松志保、久保主税、熊谷美也子、熊澤大介、桑田愛、久山美樹、河野（矢野）貴久子、小島康文、小寺恵美子、古元重和、小森谷徹、今千夏、権田牧子、齋藤暁子、酒井雅子、坂上恒平、坂本憲枝、佐々木ひろこ、佐藤（佐久間）りか、澤田美佐子、鹿内 晴美、Shizu、品田茉莉、柴田香子、澁田知樹、渋谷和果、島岡恵、嶋田智明、清水佳代、新階佳奈、須賀裕子、須賀久彌、菅原泉、杉田敬子、鈴木智之、関松美、関口美恵、平真紀、高野紀子、高橋美樹、高橋雄一、高橋麻菜美、瀧和起、竹内功、竹内登美子、竹田弘明、武田泰子、田嶋善文、田中尚子、谷口弘子、玉川哲也、田村浩二、田山一郎、千秋吉恵、千田かおる、茶谷信明、長南千恵子、築山勝幸、辻香織、辻村裕一、津田友恵、続大介、鶴田美帆子、常盤純子、土手口明子、鳥羽晋介、富井りさ、戸宮知子、内藤麗、長井尚子、長尾好倫、長浜孝広、仲川薫、永瀬聡子、長田正美、永田雅人、中野成美、中野誠司、長浜孝広、中村真紀子、長屋諒子、中山伸大、中山政弘、並木一茂、仁賀田充、西村龍雄、野口太以知、野元義久、橋爪敦哉、八田政玄、服部卓郎、濱口慶太、濱田尚子、濱部紗智奈、早川葵咲、早川裕司、林真紀、原田浩次、尾藤弘子、平尾譲二、廣瀬規子、廣田綾実、福島淳子、福田萌子、福富理佳、藤岡弘美、藤田恭子、藤本かなえ、藤原由佳、古市理代、古山未希子、細川大輔、堀翔馬、堀内さやか、本郷朋博、本田明子、本多英里、前田えり、前田法子、真砂由紀子、増田一穂、松野芳久、松原恭子、真鍋摩梨、黛貴美子、丸山寛朝、マンゼラ愛香、三浦建太郎、三浦哲、三小田実、皆川明、菫輪幸子、三保達郎、宮川順子、宮城任子、三宅伸行、宮副和歩、牟田彩乃、向井洋平、向笠純恵、村上由、最上沙紀子、森明子、森浩輝、森田智美、諸橋宏、矢代百恵、山城南保子、山田優子、山本泰弘、横井桃子、横山浩実、吉池千絵、吉田稔章、吉田裕美、吉永享史、若林聖、渡辺大、渡辺希果、渡辺美代、渡部清香（50音順敬称略）

寄付の方法は5つ！活動趣旨に賛同し、応援くださる個人、法人・団体、医療機関を募集しています。

1) 毎月応援「月会費」サポーター

毎月固定の金額でご寄付いただく方法です。500円/月からお申込みいただけます。*クレジット決済のみです。



「月会費」サポーター
入会ページ

2) 毎年応援「年会費」サポーター

年会費として毎年ご支援いただく方法です。

- ◆個人会員年会費 1口 3,000円 (1口以上)
- ◆法人会員年会費 1口 10,000円 (1口以上)



「年会費」サポーター
入会ページ

3) 応援したいときにいつでも！「都度寄付」

3,000円以上のご希望の金額でご寄付いただけます。
クレジットカード払いの他、銀行口座への直接振込も可能です。



都度寄付QRコード

三菱UFJ銀行 本店 普通口座 1766316
口座名義：特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング

4) ロゴ入りグッズやミールdeスマイリング缶を購入して応援！

3種類の当団体ロゴマークが入ったオリジナルグッズを販売しています。1商品購入につき1,000円が当団体に寄付されます。Tシャツや赤ちゃん用ロンパース、ドッグウェア、トートバッグ、マグカップなど種類は豊富。

また、2019年に開発した米澤文雄シェフ監修のおいしすぎる缶詰「ミールdeスマイリング缶」も個人向け販売を始めました。4缶購入していただくことで1人の病児ママの食事（4缶セット）を支援することができます！米澤シェフの味をご家庭でぜひご賞味ください。



チャリティグッズ
購入ページ



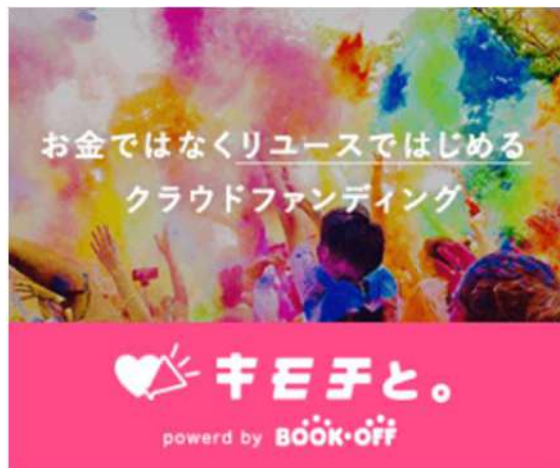
缶詰購入ページ

寄付・ご支援の方法について

5) 不要になった書籍・DVD/CD・ゲームを売って応援！ ブックオフ「キモチと。」プログラムにご協力ください

ブックオフが企画・運営しているファンドレイジングサイト「キモチと。」の応援プロジェクトの1つに、当団体が選ばれました。

このプログラムにご協力いただく方法はとても簡単。不要になった本やDVD/CDやゲームなどを段ボールに詰めるだけ。宅配会社さんが無料で集荷にきてくれます。本1冊から集荷可能です。査定相当額が当団体に寄付されます。いただいたご寄付は、ミールプログラム等の運営資金として活用させていただきます。ご自宅の断捨離にぜひご利用ください！



キープ・ママ・スマイリング
ページの該当ページは右の
QRコードから読み取れま
す。



小児病棟へ絵本やおもちゃを寄付

家族と面会できない子どもたちへ絵本やおもちゃを寄付

2020年4月下旬、全国の小児病棟で付き添い中のご家族に対しコロナ感染拡大の影響に関する緊急アンケートを実施したところ、感染予防を目的にプレイルームが閉鎖され、遊び場を失った子どもたちは1日中ベッドの上で過ごさなければならない状況であることがわかりました。

そこで、子どもたちが病室のベッドでひとりでいても楽しく過ごせるよう、絵本や塗り絵、DVDやおもちゃなどを提供することにし、寄付を募りました。5月末現在、集まった絵本は100冊を越えました。6月より順次、小児病棟に届けてまいります。ご寄付いただいた皆さま、ありがとうございました！



全国の病児・ゆっくりさんを育てるお母さんを一緒に応援しましょう！

WE ARE SMILE KEEPERS.



キープママの応援方法

① マンスリーサポーター

毎月定額の寄付で応援(500円～)



② 買って応援！

チャリティグッズ1つにつき1000円のチャリティ



③ 売って応援！

ブックオフ「キモチと」で、本やDVD、ゲームおもちゃなどを
キープママご指名で売って下取り金額を寄付



詳しくは、

キープ・ママ・スマイリング 検索



キープ・ママ・スマイリング
Keep Moms Smiling!